



# 協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.84



## 12月

発行 / 社団法人国際観光施設協会  
 総務委員会  
 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋  
 2-8-5 多幸ビル九段2階  
 TEL03-3263-4844  
 FAX03-3263-4845  
 E-mail : kankou01@syd.odn.ne.jp  
 URL : <http://www.kankou-fa.jp>  
 2011年12月1日

## 平成23年度 協会活動報告

常務理事 立石博巳

本年は3月11日に東日本大震災が起き、被災地被災者は大変な被害を物心両面に受け、政治経済の低迷により8ヶ月以上経った現在もようやく復興の緒についたばかりです。被災地被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。私共協会も11月9日に開催された遠野市における東日本大震災創造的復興シンポジウムを通じて復興に貢献したいと考えております。

6月15日に経団連会館において開催された総会で承認された23年度事業計画も順調に推移しており観光交流空間のハード面を担っている唯一の団体として関連する協会等と密接に連携を図りつつ、政府が力を入れている観光立国の実現に積極的に取り組んでまいります。

広報委員会の情報誌「観光施設」は黎明No.294から紅葉No.297まで4回発行しています。内容が充実しており各界会員各位市民の皆様にも好評を博しております。

会員増強委員会においては会員増強はもとより経済情勢がきびしくなる中、現会員の退会対策の強化と新会員を含めた会員全体に対するサービスを検討し一般市民への呼びかけにも注力いたします。

10月末現在の会員は203社名です。

各委員会分科会交流部会（建築・設備・インテリア部会）においてセミナー講演会見学会等を催し会員相互の交流親睦を深めて一般市民の方へのアピールを行います。

ホテルズ実行委員会は第40回2012国際ホテルレストランショー - に向けて別掲のようにユニークな企画を立て実施する予定です。皆様の積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

政権も野田首相になり国内外共に問題をかかえ復興予算増税、TPP、沖縄問題等が列挙され国外はEU、イタリア、米国他新興国も含め山積みの問題があり会員の皆様も会社共々大変なご苦労をされていることと拝察申し上げます。

総務委員会は協会活動の中核として下期予定している各行事をスムーズに運営し、新公益法人問題にも積極的に対応します。また、会員相互の親睦と情報交流が活発に図られ少しでもビジネスチャンスが生かされるよう目くばり、気くばり、心くばりを持って努力いたします。関係各位のご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 第40回 2012国際ホテル・レストラン・ショーのお知らせ

第40回 2012国際ホテル・レストラン・ショーは、平成24年2月21日（火）～24日（金）に例年通り、東京ビッグサイトにおいて開催されます。

当協会の特別企画「エコ達人村の相談デスク」は、好評のうちに今回で3回目を迎えますが、自然エネルギー利用など、よりいっそう充実した相談内容で、ホテル・旅館の相談者（予約制）にお応えします。

また、会場ブースには、昨年11月9日に開催した東日本大震災創造的復興シンポジウムのようなすをパネル展示ご紹介いたします。

最終日に行われる主催者セミナーでは、震災後、関心の高まる節電・停電対策にスポットをあて、「エコの考え方による節電（停電）対策」を開催します。是非、皆様のご来場をお待ちしております。

★☆☆ HCJ2012  
 HOTES JAPAN  
 40th 国際ホテル・レストラン・ショー  
 給食・弁当サービス業界にむけた展示会  
 33rd フード・ケータリングショー  
 12th 厨房設備機器展

### 【エコ達人村の相談デスク】

日時：平成24年2月21日（火）  
 ～24日（金）  
 会場：東京ビッグサイト 東館  
 東京都江東区有明3-11-1  
 りんかい線「国際展示場」駅下車徒歩約7分  
 ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車  
 徒歩約3分

### 【エコ達人村のセミナー】

テーマ：「エコの考え方による  
 節電（停電）対策」  
 日時：平成24年2月24日（金）  
 会場：東京ビッグサイト  
 会場内主催団体セミナールーム  
 参加費：無料 定員：100名

## 東日本大震災創造的復興シンポジウム結果報告

11月9日遠野市あえりあ遠野において東日本大震災創造的復興シンポジウムを開催した。当協会会長から『世界的に美しい陸中の八海湾の創造と広域環状観光圏の提案』を行った。陸中の八海湾と世界遺産平泉・日本三景松島・花巻空港八幡平などを結ぶ広域環状観光圏を形成し、1「美しい景観をつくる」2「富を生み出すシステムをつくる」3「町の誇りを育む」の3つの観点から世界に発信する観光交流空間を提案した。本田敏秋遠野市長より『東北の力と誇り』について基調講演を頂き、続いて伝承文化について盛岡大学の橋本裕之教授・漁業について三陸とれたて市場の八木健一郎氏・農業は多田自然農場の多田克彦氏・芸術はJTB東北地域ソリューション事業部の佐藤文彦氏・交通はJR東日本観光戦略室の最明仁室長・広域観光は国際観光旅館連盟の佐藤義正会長・特区について宮古市企画課の山崎政典課長という各分野の前線で活躍されている皆様による、復興にかける熱い思いと問題点、提案を頂いた。

最後に1世界的な美しさとは何か、2強い地域ブランドをつくる、3どのような富を得るかというテーマでパネリストの皆様及び会場の皆様と立体的なディスカッションを行った。伝統・文化・歴史に裏づけられた風土の復興を通して初めて世界に発信できる観光交流空間が生まれる。当協会はその心を形にしていこうお手伝いができれば幸いである。

### インテリア部会セミナー 柘野俊明氏講演会

11月1日、パナソニック電工ホールにて、『震災復興 頑張ろう日本』のセミナーが行われ121名の方が参加されました。今回は、住職でありながら庭園デザイナーであり多摩美術大学環境デザイン学科教授である柘野俊明氏に講演していただきました。

前半は、禅宗から学ぶこと、後半は、日本の物づくりや庭園デザインについての講演をいただきました。建築のお話から、庭園づくりの意味、そして禅からの精神的な日本人の考え方を、お聞きする事ができました。「すばらしい日本に生まれ育ち、感謝の気持ちを忘れずに、復興へのスタートとして講演をお聞きし、皆さんで出来る事を一生懸命する気持ちに改めてなりました。」という声もたくさん寄せられました。

### TOTO TECHNICAL CENTER 見学会報告

設備部会第2回目の見学会が10月28日に開催されました。見学会場である「TOTOテクニカルセンター」は最適な水まわり空間を生み出す場として作られました。トイレの役割は時代とともに変化し、更なるニーズや問題が生まれています。そのキーとなるのが「女性」です。その実態調査や女性の行動を徹底的に分析した結果を踏まえた「女性のトイレセミナー」も行われ、最新のトイレの実施例と実施内容、ニーズの分析など大変興味深く、思わずなるほどと頷く内容でした。その後の懇親会も大変有意義な意見交換が出来、充実した一日となりました。次回の設備部会見学会は来年2月3日(金)を計画しています。次回もご期待ください。

## 「ソラリア西鉄ホテル銀座」の施設見学報告

久しぶりの施設見学会。11月21日13:30開始。初めて銀座4丁目に出来たホテルだとのことで出掛けてみた。今までに見た「庭のホテル」「龍名館」「ロッセホテル」は特色ある宿泊特化ホテルであった。今回も期待どおりの特色あるホテルであり、客室は銀座らしくしっとりした華やかできらきらしたデザインであった。銀座でのショッピング、観劇のために宿泊する連泊客が多いとのこと。頷けます。

見学後、高木総支配人と橋口デザイナーのお話を聞けてよかったです。これからの施設見学会に期待します。

### 事務局 年末年始のお休み

12月29日(木)～1月4日(水)

### 賀詞交歓会開催のお知らせ

日時：平成24年1月10日(火)11時～12時30分  
場所：ホテルメトロポリタンエドモント3F「千鳥の間」  
千代田区飯田橋3-10-8 TEL03-3237-1111(代)  
交通：JR・地下鉄「飯田橋駅」より徒歩5分  
会費は無料です。開催時間にご注意ください。

### 新入会員紹介

#### 【設計・IT】 株式会社ユーコム

(代表者) (担当者)  
代表取締役 湯浅信夫 東京営業所 所長 板野正明  
〒105-0004 東京都港区新橋5-7-10 新橋S Nビル3階  
TEL03-3578-8670 FAX03-3578-8516  
業務内容：ホテル業へのITコンサル

### 第98回ゴルフ会結果報告

秋のゴルフ会が2011年10月26日(水)に「相武カントリー倶楽部」にて開催されました。当日はコンディションも良く、和気藹藹とした雰囲気の中、新ペリア方式にて大会が行われました。6組で行われたゴルフ会を制したのは日光プラント工業の杉浦様でした。今後も皆さんの親睦の場となりますよう、第100回記念大会に向けて、盛り上げていきたいと考えております。次回も同ゴルフ場にて5月頃に計画中です。多数の参加をお待ちしております。

### ♥編集後記♥

公益法人改革に伴う移行に際し、社団法人「日本ドライブイン協会」が「日本観光施設協会」に名称変更されると聞きました。同じ社団法人で、国際と日本の違いだけで我々の協会と類似した名称になることに驚かされます。観光施設協会の名称が付く団体は、他にも奥多摩エリアの観光施設を集めている社団法人「大多摩観光施設協会」や、その地域の観光施設が集まっている「群馬県観光施設協会」、「中四国観光施設協会」などがあり、主な事業として、その地域の観光施設を共同で紹介しています。

他の協会が観光施設そのものの集まりであるのに対し、私達は唯一その施設をより理想的なものに整備していくことを主な事業としている団体ですが、一般的にその違いをどのように理解してもらうのか、工夫する必要があるように思う出来事でした。